



# 議会だより



異世界を飛ぶ鳥



墨で描く鷹

(12面に関連記事)

## Index

● 議長年頭のご挨拶 .....	2
● こんなことが決まりました .....	3
● 一般質問（12月定例会） .....	5
● 議会活性化通信 .....	9
● 研修視察報告 .....	9
● あれからどうなったの？ .....	11
● 楽しむ人 .....	12

# No.20

平成23年1月25日発行



## 年頭のご挨拶



おい町議会 議長

浜田 勝美

新年明けましておめでとございます。

町民の皆様方におかれましては、ご家族おそろいで、お健やかに、新春をお迎えのこととお慶び申し上げますと共に、崇えゆく町の将来を壽ぎ、議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

日頃は、議会に対しまして格別のご指導、ご鞭撻を賜り、お陰様で大過なく新年を迎えることができましたことを、心から感謝申し上げますと共に、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、その年の世相を表す漢字に「暑」が選ばれたことに象徴されるように、記録的な猛暑日の連続により、熱中症や体調を壊される人が続出しました。

暑さ対策への支出や野菜価格の高騰などが日々の生活を直撃し、自然界では魚介類の不漁や、山で餌不足となった熊が人里に出没するなど、いつまでも続く酷暑に地球温暖化の警鐘を感じずにはいられませんでした。

一方、国政を見て参りますと、一昨年には政権交代がされましたが、いまだ国政は安定せず、政治不信が続く

中、外交・防衛問題や経済対策などの諸問題が内閣支持率にも影響しており、失業率の上昇や新卒者の就職難など、いまだその出口が見えません。

さて、このような環境下ではございますが、本町におきましては、各施策が順調に進展いたしております。

まず、原子力発電所立地の集大成として取り組んでおります「うみんびあ大飯事業」では、一昨年のグランドオープン以降、順調に利用者が増えており、特に「こども家族館」におきましては、昨年の十月に五十万人目の来館者の方をお迎えすることができ、誠に喜ばしいところであります。

一方、名田庄地域で整備しております「名田庄総合施設」も、その名称を「おい町里山文化交流センター」と決定し、本年秋季の開館に向けまして、本体工事や周辺整備、新年度からは、備品や図書購入などが順次進められる計画であります。

地方分権が進展する中、議会では「議会活性化特別委員会」を設置し、議会のあり方、活性化方策等に関して幅広い調査・協議を進めております。その結果、一昨年の十一月には中間報告を受け、それ以降の「議会基本条例」の制定に向けての取り組みも、最終段階に入っております。

我々議員一同は、改めて議員としてのその責務の重大さを認識するとともに、我がおい町が、更なる発展を期せるよう、議会活動を全うする所存でございます。

結びに、町民の皆様方の益々のご健勝と、ご多幸を心よりご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

6・7回  
臨時会

## こんなことが決まりました

12月  
定例会

第6回臨時会(11月4日)では、工事請負契約の締結2件を、第7回臨時会(11月25日)では、一般職の給与に関する条例等の一部改正1件をそれぞれ原案通り可決しました。

12月定例会(9日~22日)では、過疎地域自立促進計画を定めることについてや、一般会計補正予算など9議案を原案通り可決しました。

その他、請願2件を不採択とし、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への不参加を求める意見書を提出することを決めました。

## 第6回臨時会(11月4日)

## ●農産加工施設建設工事を

2億9568万円で契約

名田庄西谷地係に、漬物、そば、惣菜、菓子製造の施設を建設する工事で、入札の結果、株式会社時岡組が落札しています。

(全会一致・可決)

## ●林産加工施設用地造成工事を

8347万5千円で契約

三森地係に、しいたけ培養施設を建設するための用地造成工事で、入札の結果、株式会社山本組が落札しています。

(全会一致・可決)

## 第7回臨時会(11月25日)

## ●人事院勧告に基づき一般・特別職の期末手当などを引き下げ

## 【一般職】(期末・勤勉手当)

冬期分 2.200→2.000万円

年間 4.150→3.950万円

## 【特別職】(期末手当)

冬期分 1.650→1.500万円

年間 3.100→2.950万円

(賛成多数12対1・可決)

## 総額1億965万3千円を追加補正

一般・特別会計12月補正予算

議案は、予算決算常任委員会に付託され審議・報告の後、すべて原案どおり可決しました。

## 主な質疑内容・指摘事項

問 子宮頸がんワクチンの接種は、希望者だけに行われるのですか。

答 任意接種になっており、対象者の2割の接種を見込んでいます。

問 インフルエンザ予防接種に関する負担軽減内容は。

答 今季は、季節性と新型の両方に効果のある混合ワクチンが助成の対象で、生活保護世帯と低所得者世帯への全額助成や、高齢者への一部助成を実施します。

問 林道永谷線の災害復旧費が増額となった理由は。

答 災害発生後、さらに災害規模が拡大したことにより、復旧計画の変更を行ったためです。

問 うみんびあ大飯への進入路に設置する信号機は、国道の道路管理

者が施行すべきでは。

答 交通量などの問題から公安委員会で必要性がないと判断されたため、やむを得ず町費で取り組みます。

## ●一般会計補正予算

1億933万6千円

## 【主な歳出】

## ●民生費

●老人福祉施設楊梅苑増床補助事業 1887万7千円

## ●生活介護支援負担金

1487万円

## ●衛生費

●ワクチン接種委託料、新型インフルエンザ予防接種助成 321万6千円

## ●農林水産業費

●有害鳥獣捕獲駆除委託料 1300万円

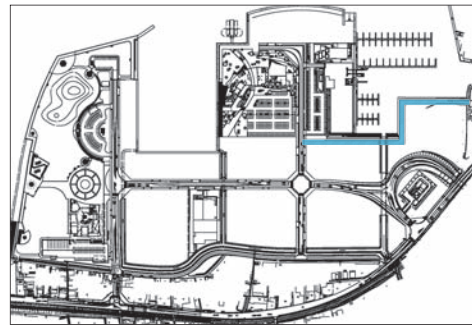
## ●漁港施設改修工事

810万円

**土木費**

●うみんぴあ大飯構内道路建設工事補助金

2064万5千円



構内道路の位置図

●道路維持補修工事

500万円

【工事箇所・内容】

- ・大島海岸線（大島地係）舗装の補修

●道路新設改良工事

2026万3千円

【工事箇所・内容】

- ・名田庄西谷線（名田庄西谷）路線測量・修正設計委託
- ・中江胡線（尾内地係）信号機設置工事
- ・道路改良工事負担金

●急傾斜地崩壊対策事業負担金

260万円

■特別会計補正予算

31万7千円

【主な歳出】

介護保険事業特別会計

●計画策定委員会費

31万7千円

簡易水道事業特別会計

●債務負担行為の追加補正

大津呂浄水場改良事業

2億2666万7千円

■指定管理者に4団体を指定

岩の鼻農村公園など4つの公共施設の指定管理者をそれぞれ指定しました。

・岩の鼻農村公園

（全会一致・可決）

三重区

・あかぐり苑地

株式会社おおい

・名田庄観光館

おおい町観光協会

・八ヶ峰家族旅行村

八ヶ峰家族旅行村管理組合

**新たな過疎地域自立促進計画を策定**

原風景を取り戻し、暮らしや産業の土台として後世に

総務常任委員会議案審査結果

総務常任委員会では、付託された議案2件と請願1件を審査しました。その結果、議案はすべて原案どおり可決し、請願1件を不採択とすることに決定しました。

産業建設常任委員会議案審査結果

産業建設常任委員会では、付託された請願1件を審査しました。その結果、不採択とすることに決定しました。

【審査された議案】

●TPPの参加に反対する意見書提出を求める請願

福井県農民運動連合会若狭支部から提出されたもので、国に対して、我が国の農業に大きな損害を与える「環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）」に参加しないことを要請する意見書提出を求めるもの。

（賛成多数6対1・不採択）

●保育制度改革に関する意見書提出を求める請願

福井県保育団体連絡会から提出されたもので、国に対して、子どもの権利を最優先に、国と地方自治体の責任のもとに保育制度が拡充されることを要請する意見書提出を求めるもの。

（賛成多数6対1・不採択）

なお、委員会では、内容を日本経済全体に言及したものに変わったTPPへの不参加を求める意見書提出を提案し、本会議で全会一致で可決されました。

## 町政ごことが聞きたい！

12月定例会では、4人の議員が一般質問をしました。

### ■森林整備に必要な道路網計画は十分な

**町長** 今後は、作業道・作業路の整備をさらに進めます



森内 正美

**問** 国は森林整備に必要な路網の整備を進めていますが、本町の林道・作業道整備の現状と今後の計画は。

**答** (町長) 中期振興事業実施計画に沿って、これまでに林道は、ほぼ計画通り約17kmの整備を終えました。

作業道は約205kmの整備を終え、引き続き事業を進めます。

今後は、作業道の開設1路線8kmの整備を計画しています。

**問** 見直しの結果、林道の開設計画は今後ありませんか。

**答**

(農林水産振興課長) 今後は、搬出に向けた路網整備が必要になってきます。国の方針に従い林道よりも作業道の整備を進めます。



整備が必要となる作業路

**問**

町行分収造林が契約更新されると利用間伐が進んでいきますが、作業道・作業路の計画は十分ですか。

**答**

(農林水産振興課長) 国庫補助を受け、森林組合と連携して大型機械を使用している森林施業体制を進め、路網を延長する計画をしています。

**問**

整備後の路網の維持管理が十分ではありません。どう対処されていますか。

**答**

(町長) 林道は、町が管理することになっており、補修個所などの情報を得て、予算化して取り組んでいます。

**答**

(建設課長) 森林組合や森林所有者からの通報や、巡視パトロールなどで維持補修を行っています。

### ■若者出会い交流応援事業の新しい企画はないか

参加者や若い人の意見を取り入れ、体験型交流などを考えています

**問**

本年度より、この事業の県補助事業対象者が市町から民間に移りましたが、本町では、町が主体となって取り組むのですか。

**答**

(住民福祉課長) 補助を受けるには、年間を通じて月1回事業を継続して行うなどの条件が示されたため、本年度から町単独で行うことにしました。

**問**

過去4年間の実績をみるとマンネリ化し、新鮮さにかかけます。

今後の計画は。

**答**

(住民福祉課長) 参加者からのアンケート結果や結婚相談員の意見などを聞き、本年度から出会いの場の提供を年2回行うことに変えました。

今後は、体験型の交流事業を行うことなども考えています。

**問**

少子化対策の一つとして、もっと大きな事業として捉える必要があると思いますが。

**答**

(町長) 大切な課題として捉えています。交流の場の提供だけでは相手が十分に理解できないことがあります。ボランティア活動など、年間を通しての交流機会が大事です。

若い人など、幅広く多くの方の意見を取り入れて、少子化対策としても、さらに継続して進めていきます。

## ■うみんぴあ大飯の振興策は

**町長** 集客施設を中心にさらなる賑わいを創出していきます



渡辺 均

**問** 成海緑地の県工事完了の見通しはどのようになっていますか。

**答** (町長) 平成23年7月末の供用開始を目標に、整備を進めると聞いています。

**問** 来年のスーパー大火勢は「うみんぴあ大飯」に会場移転すると思っておりますか。

**答** (町長) 本町の夏の一大イベント「若狭おおいのスーパー大火勢」の運営は、実行委員会に委ねていますが、観客などの安全の確保が第一だと考えています。

**問** 賑わい創出施設の進捗状況は。

**答** (町長) 「うみんぴあ大飯賑わい創出検討委員会」で規模や施設の運営方法などを議論していただいております。今年度末を目途に提言がされる予定です。



議論が重ねられている賑わい創出検討委員会

**問** 企業誘致は、2区画が決定していますが、残りの2区画では、希望業種の幅を広げては。

**答** (町長) 今後、うみんぴあ大飯事業の初期の目的に沿って、企業誘致を進めていきます。

## ■地産地消の推進は

食育・地産地消推進協議会を立ち上げ、積極的に進めていきます

**問** 名田庄西谷地係の農産加工施設へ供給する農産物の生産体制は、どのように構築していくのですか。

**答** (農林水産振興課長) 事業化していくためには、生産者・事業者・消費者が一体となって地域の自給力を強くする、特産づくりに向けた推進体制が必要だと考えています。

**問** 名田庄漬や自然薯そばの原材料となる加工用野菜や自然薯の生産量は十分ですか。

**答** (農林水産振興課長) 加工用野菜で特にキュウリは、現在の生産必要量120トンの内、概ね7割程度しか地元で確保できていません。

自然薯は、約5トンの生産量で、需要はありますが生産者の高齢化と後継者不足のため、生産量は頭打ちの状態です。

**問** 平成23年度に加工施設が完成し、次年度から供用を開始していく計画ですが、生産体制は間に合いますか。

**答** (農林水産振興課長) 平成23年度に「食育・地産地消推進協議会」を立ち上げ、消費者グループなどの組織と連携しながら、積極的に推進していきます。

**問** 「情報交差点ポータル」では、週末に町内の農水産物の販売が行われています。

**答** (商工観光振興課長) 青空市場は、農水産物を生産者が直売するかたちで開かれており、町からは販売用の設備を提供しています。この市場は、「ポータル」の集客を促すことを趣旨としており、今後検討してまいります。

**問** 農産物の差別化と付加価値を求めていく観点から、環境保全型農業(エコファーマー)を推進させていきますか。

**答** (農林水産振興課長) 環境を重視した農業は、国や県でも推進していますので、町でも推進していきます。

### 環境整備事業の進め方と進捗状況

**町長** 「人づくり」、「生活環境」と「生活環境づくり」を住民相互の協力体制で進めます



小川 宗一

**問** おおい町環境整備事業では、本年4月に「おおい町環境基本計画」が10年間の計画期間として策定されました。

今後の具体的な進め方と進捗状況は。

**答** (町長) 「環境未来像」を実現するための行動目標として、みんなが力を出し合いながら環境保全・創出を实践する「人づくり」、そして思いやりを大切に、ゆとりと潤いに満ちた「生活環境づくり」に努めていきます。

**問** 四季折々の景観を保全する観三十選」を募集されていますが、その状況は。

**答**

(企画課長) 環境保全意識の啓発を目的に、町内在住者からの公募を実施しています。2月末まで募集して、締め切り次第選考します。

**問**

保全監視委員や住民総合育成の研修計画は。

**答**

(企画課長) 専門的な知識を得るため、環境アドバイザー制度を毎年実施していきます。

**問**

次代を担う子供達の環境学習は。

**答**

(教育長) 十分とは考えていませんが、「環境基本計画」の行動目標の一つに挙げている「人づくり」の中で、「子供環境教育プロジェクト」を進めます。

**問**

本町の不法投棄の現状は。

**答**

(企画課長) 現状では、県境や峠付近が多く、今後も精度を挙げて取り組んでいきます。

### 観光振興事業の充実を

広域的な情報収集を進め、近隣団体との連携を強めます

**問**

観光事業関連での研修や視察は。

**答**

(商工観光振興課長) 受け入れ体制を充実させるため、「もてなしの心」を基本に、あわら市の旅館の女将を講師に迎えた接遇研修なども行っています。

先進地の事例も参考にしながら、観光振興に取り組みます。



昨年実施されたおもてなしマスター研修

**問**

役場内での総合的な意見交換や総合的な合同会議は。

**答**

(商工観光振興課長) 他の課と連携するため、総合計画に基づく中期振興事業実施計画の進捗状況の確認や、政策ヒヤリングといった場で意見交換を行い、適時調整しています。

**問**

町として、観光を促進するための情報収集は。

**答**

(商工観光振興課長) 情報を取り入れることは大変に重要な事項であり、広域的な取り組みが今後の観光振興に欠かせないことは事実です。

近隣の行政担当と緊密な連携を取りながら、県外の情報にも目を向け、協働して進めます。

**問**

自然体験型の観光も大変に魅力的です。今後の予定は。

**答**

(商工観光振興課長) 多くの関係者の懸命な努力で、来年度には名古屋の中学生の教育研修旅行を受け入れることになりました。

今後もこの様な取り組みが一過性で終わることのないよう、次年度へつなげて誘客活動を拡げよう努力をしていきます。



TPP参加は本町農業にも影響が予測される

## TPP交渉反対の意思表明を

**町長** 町村会を中心に参加阻止に全力を挙げたい



猿橋 巧

### 問

「環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）」への参加は、日本の食料自給率の低下を招き、農業を壊滅させるものです。参加反対を表明すべきでは。

### 答

（町長） 地方にとって、農林水産業は基幹産業で、TPP参加がもたらす打撃は計り知れず、参加は撤回すべきだと考えます。

### 経済効果大の「住宅リフォーム助成制度」の創設を

経済の活性化は重要ですが、いくつかの課題が残ります

### 問

町内の多くの業種が参入できる住宅リフォームに助成すれば、循環型事業で地域経済活性化への波及効果が大きく、町民にも業者にも役に立つのでは。

### 答

（建設課長） 無条件での定額補助は、住民サービスの公平性や適正な業者間競争の確保などから課題があります。

### 子育て支援を充実する 応援条例の制定を

子育て支援に積極的に取り組みます

### 問

保育料や学校給食費の全額免除、転入者奨励金や高校入学支援金の交付などを行う町子育て応援条例を制定すべきでは。

### 答

（副町長） 既に、保育料の軽減や延長保育、さらには、医療費や通学費助成など、子育て応援に積極的に取り組んでいます。

### 国民健康保険と介護保険制度の改善を 保険料減額に向けた対応策を検討します

国保を県が広域的に運営することや、介護保険料の値上げ、サービスの削減などの見直し案が検討されています。

### 問

これは大問題ですが対応策は。

### 答

（副町長） 国保の広域化が進めば、本町の保険料は値上

がりするのに対して、医療サービスは増加しないなど、マイナスの要素が多くあります。

介護保険は、現在、第5期計画の見直しを行っていますが、恒久的な財源確保策の中から、高齢者の負担増もあり得ます。

### 問

国保税の引き下げや資産割の廃止、均等割の中学生までの子と数をなくす、さらに、町独自の税の軽減制度や短期保険証発行期間の改善を求めます。

### 答

（なごみ保健課長） 県平均より22%低い保険料であることなどから、今は実施しません。

また、減免基準が国からガイドラインとして示されたので、要綱の整備を検討します。

1カ月期間の短期保険証の発行は、納税者との接触機会を確保し、計画的な納付のメリットもあり、今後も適切に対応していきます。

### 答

（税務課長） 資産割の廃止は「都市型」で、県内でも採用されておらず、また、均等割の子どもの数を除外するのも同様です。で、算定方法を変更する予定は今のところありません。



# 議会活性化通信

議会活性化特別委員会

委員長 新谷 欣也

## ●議会基本条例は

最終段階に

町民の皆様の見解も反映

平成20年12月定例会で議会活性化特別委員会を立ち上げてから2年、議会基本条例を制定している先進地研修を行い、できることから一歩ずつ活性化を図り、改革を積み上げながら、町民に信頼される開かれた議会づくりを進めてきました。

議会基本条例制定に向けて、全体会議や小委員会などを重ねて、中間報告で報告した「議員の政策能力向上」、「町民に開かれた議会」、「議会運営」という3つの視点を条文に取り入れた素案を7月に作成しました。

その後、議員全員で意見を出し合う自由討議形式の審議をして素案を



第2回議会報告会で条例案を説明

練り直して議会基本条例案を作成し、この1月13日・20日に町内4つの会場において議会報告会を開催させていただき、住民の皆様のご意見をお伺いしました。

皆様から頂きました貴重なご意見を尊重し、より良い議会基本条例にして、来る3月定例会に条例の制定を提案できるように仕上げたいと考えています。

町民の皆様への議会に対するご意見やご指導を、今後とも厳しく賜りますよう、よろしく申し上げます。

## 議員全員研修視察報告

研修日時 平成22年10月18日・19日  
研修会場 夕張市

日本製鋼所室蘭製作所

参加者 議員13人

## ●財政破綻の原因と再生は

議会の監視機能の重要さ実感

### ●夕張市ドキュメンタリー・ツアー

明治21年に北海道庁の技師 坂一太郎が大炭層の露頭を発見したことから、新しい近代エネルギーの町として、夕張の歴史が始まりました。

昭和35年頃、国のエネルギー政策が石炭から石油へ、さらに、新しい原子燃料の時代へと移りました。

昭和35年には11万1千人であった人口は、今では1万1千人にまで減少し、高齢化率も44%となり、市の財政事情はさらに厳しくなっています。

平成18年6月に632億円の負債を抱えて財政破綻した地方自治体の現実を目の当たりにして、その厳しさと苦痛の姿をしっかりと受け止め、本町も厳しい現実を理解しなければなりません。



財政破綻の状況をつぶさに視察

### ●日本製鋼所室蘭製作所

明治40年に日本の製鋼業の発祥地として、近代日本の夜明けの輝きを吹き込んだ室蘭製作所です。

未来の会社に向かって、焦点を技術の発展に合わせて取り組んでおられます。特に、大型鍛鋼品の精度向上に特段の開発力が注がれています。

超一流の総合技術・技能を駆使されて、原子力事業では、単一鋼魂から原子力容器という最も重要な心臓部の部材を製作され、非常に高い製造品質を維持されています。

**産業建設常任委員会  
研修視察報告**

研修日時 平成22年11月1日  
研修会場 長野県小布施町  
参加者 委員6人

●**観光客を集客する秘訣は**

**住民の参加が不可欠**

長野県小布施町で、産業振興や観光、景観形成、まちづくりへの取組みの研修を行いました。

総面積約19キロ平米に、人口1万1500人が住む、長野市に隣接する小さな町です。

葛飾北斎館、高井鴻山記念館などの美術館を核に、地場産業の栗、果物を採用した菓子店舗、榎一市村酒造の酒蔵を中心にしたエリア一帯は、特に整備されていますが、街中の道ぶちに花が植えられ、個人の家も個性的に飾られています。

小布施町では、住民たちが集まって話し合い、納得すれば実践するという自主性、実行性を構築してきました。



観光客で賑わう町並み修景エリア

宿泊は、近隣の温泉地に任せて、通過型の観光客を年間120万人呼び込んでいます。  
経済的にも精神的にも、豊かで健全な生活環境を整えることを目標に住民は協力し、実践してきたことが現在の町づくりに繋がってなっているとされます。  
今後は、町の中心から郊外に向けた外側の整備に取り掛かる計画です。  
伝統文化を生かしたまちづくりはこれからも続けられていきます。

**第7回全国原子力発電所  
立地議会サミット報告**

研修日時 平成22年11月16日・17日  
研修会場 東京都港区高輪  
品川プリンスホテル  
参加者 委員8人

●**20年先には**

**14基以上の増設を**

**基調講演で経済産業省から説明**

このサミットは、第1回が平成9年7月に開催されて以来、今回が7回目となります。

初日は、資源エネルギー庁原子力立地燃料サイクル産業課長 森本氏から、原子力政策全般の講演がありました。

その中で、今後のエネルギー基本計画は、原子力発電が全電源に占める割合を2030年までに5割にしたい。そのためには、現状の54基から14基の増設が必要になります。

しかし、原子力発電所の新設は、地元の理解が得られず進まないことから、今後はリブレースによる新設になるとのこと。



各分科会に分かれての意見交換

基調講演の後は、5つの分科会に分かれ、原子力政策に関する議論を深めあい、それぞれの地域に存在する諸課題や情報共有を図りながら、意見交換を行いました。  
2日目の全体会では、各分科会からの報告と、経済産業省と文部科学省からの講評が行われました。  
その中で、原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法が平成23年度末で期限切れになるのに対して、両省から、延長を求めるための全面協力と、さらなる立地地域の振興に努めていくとの発言がありました。

# 追跡

1年前の一般質問

## あれからどうなったの？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。今回は、平成21年12月定例会からピックアップしました。



### 高校生の通学費用に 助成を

本町には高校がなく、保護者の通学費への負担が重いので、定期券購入費を助成することができませんか。

(猿橋 巧 議員)

教育長答弁



### 地域の実情を 見ながら判断を

まずは、県や国が方策・支援を示すべきですが、地域の実情や近隣市町の動向も見ながら判断をしていきます。

どうなった？



### 高校等通学費助成事業 を開始

平成22年10月から、町内高校生の220人を対象に、月1万円を限度に定期券購入費の2分の1の額の助成を開始します。



若狭本郷駅を利用して通学する高校生



町民・事業者・町それぞれの役割を示した環境基本計画



### 環境整備事業の 推進計画は

自然環境整備は大変重要な事業です。町としての総合的な自然環境整備事業への対応は。

(小川 宗一 議員)

副町長答弁



### 地域環境に配慮した 計画を策定

総合的な自然環境事業を実施することは大切なことです。

地域環境に配慮した計画を、国・県と連携して策定します。

どうなった？



### 環境基本計画を策定

「おい町環境基本計画」を、平成22年度から10年間の計画期間で推進します。

そして、より実効性の高い環境未来像を目指します。

# 物語を想いながら描く

名田庄三重 田中 鉄也さん

僕は、病気を患って入院していた時にテレビを見て、面白いアニメに釘付けになり、そのアニメの場面を描き写して楽しんだりするようになりました。

退院した後も、テレビに出てくるようなキャラクターを、面白いと思いながら書き写していました。今から思えばあの頃は、キャラクターの特徴をうまく描けず、保育園児が描くような絵だったと思います。

でも、時間が経つにつれて特徴を付けてうまく絵が描けるようになってきました。これからも少しずつ努力して、いつかは立派な絵が描けるようになりたいと思っています。

最近では、テレビで動物や自然環境に関する番組を見たり、小説や漫画では、妖怪や霊をテーマとしたものや、現実から遠く離れた異世界の物語が好きでたまりません。

漫画では「妖怪のお医者さん」と言った題名の物語を読んだりしています。

これからは野生動物の番組を見たりして、素敵な絵も描いていこうと思っています。  
(田中 鉄也 記)



# 楽しむ

## 水墨画を描く

笹谷 渡邊 一司さん

水墨画は、「達磨図」に代表されるように、中国から禅僧によって日本に伝えられました。

室町時代は日本水墨画の全盛期で、足利家の寺である京都の相国寺からは、如拙、周文、雪舟をはじめとする多くの画僧を輩出しています。中でも雪舟は有名ですが、この時代には水墨画だけではなく、伝統的な大和絵も盛んに描かれていました。

水墨画の魅力は、種類の違う色々な墨を使い、墨色の濃淡、にじみ、かすれの表現で色味を出し、筆使いで絵に力強さを表す。人物画や花鳥図が中心ですが、山水画、漢詩と絵を描いた詩画軸、色味を加えた着色画と幅も広く、奥が深い世界です。

渡邊さんは当初、油絵を描いておられましたが、油の匂いより、水墨画の墨の香りに魅せられて、水墨画を描くようになりました。

「机に向かって絵を描いていると、背筋がしゃきっとして、身が引き締まる思いがします。また、精神の統一にも繋がる」と言われます。

14世紀の代表的な水墨画家の鉄舟徳濟は禅宗の祖、夢窓疎石の弟子の禅僧でした。水墨画の世界には宗教的な精神が込められているように思われます。

渡邊さんが描いておられる、広い家の二階の画室には、高貴な墨の香りが漂っていました。  
(渡辺 記)

## 議会の傍聴に来てみませんか

おい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会は3月です。傍聴について詳しくは議会議務局(77-1111内線312)までお問い合わせください。

3月定例会  
の予定

会 期：3月1日から23日まで(23日間)

本会議：1日(議案提案理由説明)、15日(一般質問)、23日(採決)

委員会：総務・産業建設常任委員会(3日)、予算決算常任委員会(1~18日)



広報特別委員会委員

### 【編集後記】

町民の皆様方には、ご家族おそろいで、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年第一号の議会だよりは、議長の年頭の挨拶をはじめ、昨年の12月定例会の内容を中心に編集しました。議会広報は、情報時代の中で、誰に何を伝えるのか、解りやすさや読みやすさが大切となっています。

今後ともよりよい紙面作成のため、一層努力してまいります。

皆様のご感想・ご要望をお寄せ下さい。

今年も何卒よろしくお願  
い致します。  
(小川)